

はじめに

沖縄県の福祉行政においては、生活に困窮されている方への支援、子どもの成長と子育てを支える環境の整備、高齢者や障害のある方々が安心して暮らせる社会の構築など、県民一人ひとりに身近な生活の課題に取り組んでまいりました。

福祉サービスに対する需要はますます高まり、沖縄県においては、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、新たな課題にも対応できるよう、さまざまな取組を実施しております。

子ども生活福祉部では、生活困窮者の自立支援、待機児童の解消、老人福祉施設の整備、障害のある人もない人も暮らしやすい社会づくり等、日常生活に困難を抱える方々への支援のほか、消費生活センターの運営などより良い消費・暮らしに向けた施策の実施、DV対策の推進など安心・安全な社会づくり、沖縄平和賞の贈賞や戦没者の遺骨収集など平和の構築や戦後処理の問題に取り組んでおります。

これらの取組に加え、子どもの貧困対策、ヤングケアラーへの支援、自然災害や物価高騰への対応等、新たな課題にも積極的に取り組むことにより、支援を必要とする県民ニーズを丁寧にくみ取り、子どもから高齢者まで全ての県民が安全・安心かつ健やかに暮らせるよう、福祉の向上に努めてまいります。

令和6年3月

沖縄県子ども生活福祉部長 宮平 道子